

## 第99回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年9月16日（金） 15：00－16：00

2. 場所：中央合同庁舎4号館2階 第3特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

後藤委員長、常田委員長代理、遠藤委員、片岡委員、白坂委員、松尾委員

(2) オブザーバー

森昌文内閣総理大臣補佐官

(3) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：河西局長、坂口審議官、滝澤参事官

(4) 説明者

内閣衛星情報センター管理部 森田部長

総務省国際戦略局 内藤審議官

文部科学省研究開発局 千原局長

農林水産省農林水産技術会議事務局 山田研究総務官

経済産業省大臣官房 恒藤審議官（製造産業局担当）

国土交通省 加藤技術総括審議官

環境省地球環境局 松澤局長

防衛省防衛政策局戦略企画課 田邊課長

4. 議事要旨

(1) 令和5年度宇宙関係予算の概算要求の状況について

事務局より資料1-1に基づき、令和5年度宇宙関係予算で4,824億円を計上し、さらに各府省において事項要求を行う旨、説明を行った。また、内閣衛星情報センター、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省から、資料1-2～1-9に基づき、具体的な要求内容について説明を行った。委員からは以下のような意見があった。

- 宇宙関係予算については、事項要求となっている項目もあるが、しっかりと予算を確保して欲しい。
- 宇宙関係予算の強化は大変喜ばしいこと。特に利用省庁の予算が伸びていることに価値がある。
- プロジェクト化する前に研究開発を行う、フロントローディングの取組は重要である。将来的なニーズを意識しながら、積極的に取り組んで欲しい。
- 安全保障において、今後5年間で勝負になるため、大幅な強化が必要である。特に、衛星開発やシステム開発にあたっては、出口を見据え、ユーザーの声を聞きながら、コストとスピード

をよく考えて進めて欲しい。

- 衛星データについて、まずは無償で利用拡大を図るとのことだが、将来的には有償でも利用してもらえることが望ましい。

(2) その他

事務局より資料2に基づき、宇宙基本計画工程表改訂に向けた今後の進め方（案）について説明を行った。審議の結果、この案のとおり進めることとなった。

以上